

## 令和6年度 DO及びSSの測定結果

河川名	地点名	DO(日間平均値)			SS(日間平均値)		
		最大	最小	平均	最大	最小	平均
荒川	羽根倉橋	12	6.7	9.0	5	2	4
鴨川	新大宮バイパス線下	11	4.9	7.7	14	3	6.6
	加茂川橋	10	4.5	7.6	26	6	12.3
	学校橋	14	6.8	9.1	21	7	13
	中土手橋	12	5.2	7.9	27	6	13.3
	さくら草橋	11	4.2	7.3	20	5	10
鴻沼川	櫛引橋	7.5	2.2	4.5	23	3	9
	霧敷橋	15	3.5	10	7	1	3
	新開橋	12	5.5	8.6	21	2	7
笹目川	市立浦和南高校脇	8	5.1	7.0	16	3	9.8
藤右衛門川	柳橋	11	6.3	8.1	18	2	5
芝川	船橋	9.3	5.1	7.2	11	1	4
	境橋	10	5.5	7.6	17	3	6
	大道橋	9.3	4.3	7.0	28	3	13
	八丁橋	10	4.8	7.1	50	6	15
深作川	宮ヶ谷塔橋	13	6	8.3	24	7	14
綾瀬川	高野橋	11	5.3	7.5	15	6	10
	戸井橋	10	5.1	7.5	26	5	16
	礮橋	12	5.3	8.0	33	4	16.4
元荒川	城北大橋	11	5.9	8.0	31	3	13
	新曲輪橋	11	6.1	8.1	39	3	14
	永代橋	11	6.1	8.4	31	3	15
古隅田川	城殿宮橋	10	3.7	6.7	60	8	22

### 【用語説明】

**DO(溶存酸素)**: 水中に溶解している分子状酸素のこと。

一般に、魚が生存するためにはDO 3[mg/L]以上が必要といわれています。

**SS(浮遊物質量)**: 粒径2mm以下の、水に溶けない懸濁性物質の総称。

SSが多いと透視度が悪くなります。